

0260
0270
0280
0290**健康と身体運動文化 I ~ IV**
(エチュード) ・冬期：12月17日～12月19日

1単位（面接授業1単位）

萩山幸子講師

授業の概要と目標

実技では「からだ造り」という点から「柔軟な筋肉」「しなやかなボディライン」「力強い動き」を持つ事を目指す。機具を使わず自分の骨格や筋肉で支える事が出来る様にして「コントロールする事」をからだに覚えさせる。「存在する肉体」という観点から、表現する事とは存在を証明する事とはどういうことかを、演劇、美術、音楽、文学等あらゆる芸術的手法と日常の所作等の手法を用いて「思考する身体」あるいは「心が宿る器」つまり「人間」そのものを追及する体験を実験的、前衛的な方法でやってみる。発想の転換が必要。自己の内面を意識する為の行為を体験してその結果「内なる他者」を見出し、対話し、真に個として確立された存在を造り上げて行く。

課題の概要

○面接授業課題

テキストに沿って、踊る上で大事な知識をまず説明します。(基本的なリズム等)

授業計画

[面接授業]

- 1 インスピレーション（言葉遊び、謎掛け）
背中合わせにもたれ合い互いに浮かんだ言葉を投げ掛ける。瞬時に反応し、自分の中にエピソードを見つけ出す。
- 2 「信頼」「猜疑」「裏切り」「自助」
2人1組で倒れる者と支える者に分かれ、支える方の行動で倒れる方の心理が変化する。
- 3 ダンカンダンス：モダンダンスの始祖、イサドラ・ダンカンの提唱したダンス。
- 4 オーケストラ：円陣を作る。それが演奏者を中心に指揮者役、音楽に合わせコンダクターがまわりの演奏者を指さす。さされた者はジャンプする。
- 5 ゴム人間（安部公房演劇メソッドより）－膨張と収縮
2人1組で向き合う。ニュートラルな状態で互いに意識し相手の出方を伺う。「膨張」する者は目が見開いて行き、鼻の穴が膨らんで口が耳まで裂けて行き耳が立って、全身の毛穴が開いて目が増々つり上りうぶ毛も髪も逆立って、胸が広がり、腰が膨らみはち切れんばかり、体が全開になり、腕が高々と持ち上がり巨大な鬼又は後足で立ち上ったヒ熊の様に相手を威嚇し、征服者の様に、脅威そのものになる。反対に収縮する者は目がつぶって行き鼻も閉じて呼吸も小さくなり、口もどどんオチョボ口になって頬もコケ身幅が狭くなり、うなだれて怯えたウサギの様。次第にその立場が逆転して行く。
- 6 小さなダンスと中位のダンスと大きなダンス
- 7 オブジェクト（形を造る事、形になる事）
2人1組。彫刻家の役と彫刻の役。アーティストがオブジェの手足を自由に動かし作品を創る。
- 8 見返り美人（声と演技）
歩く人間と呼び止める人間に分かれる。様々な声のトーンで相手の名前を呼ぶ。その声の調子で状況が決まる。立ち止まり振り返る方はそれによって振り返り方やその時の表情が違って来る。2人の間にドラマが生まれる。
- 9 シャボン玉マジック（想像力と集中力）
シャボン玉を作っているとする。それを運ぼうとする。途中で割れる。また作る。そーっとそーっと運ばないとシャボン玉はすぐ消えてしまう。

成績評価の方法

まず絶対に参加する事。「楽しむ」の精神でやりぬいて下さい。授業への熱心な取り組みを望みます。

履修条件及び履修年次	[履修年次] 1～4年次 [履修条件] 1年間に履修できるのはⅠ～Ⅳのうち1科目のみ。ⅡはⅠの単位を、ⅢはⅡの単位を、ⅣはⅢの単位を修得した者に限る。 [備考] 複数の開講期間のうち、種目に限らずいずれかの期間で受講し合格した場合、同年度の他期間の受講は不可。種目の選択はスクーリング受講申込時に行う(多数の場合抽選による)。Ⅰ～Ⅳとも同じ内容の授業を行う。
------------	---

教材等	教科書：武蔵野美術大学身体運動文化研究室編 『スポーツ・健康と現代社会』（武蔵野美術大学出版局 2015年）
-----	---

その他	“ダンス”“パフォーマンス”“演劇”という先入観を持たず、好奇心を持って臨んでください。 授業以外ではなるべく様々なジャンルの芸術に触れて、ボーダーレスな感性を培ってください。 授業の時必ず少し厚手のくつ下をはく事。必ず着替える事(特にジーンズ等体を締めつける服装は不可)。 長めのタオルを持参すること。アクセサリーははずすこと。
-----	--